

2022年1月12日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

## DiscussNetPremium の新サービス「LGWAN 接続サービス」を提供開始 ～LGWAN 環境からインターネット上の会議録検索システムの直接利用が可能に～

NTT アドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：木村丈治）は、会議録検索システム「DiscussNetPremium」の新たなオプションサービスとして、総合行政ネットワーク（LGWAN）から会議録検索システムが直接利用できる「DiscussNetPremium LGWAN 接続サービス」（以下：本サービス）の提供を2022年1月12日から開始します。

1998年にサービス開始した会議録検索システム「DiscussNetPremium」は、情報公開法制定以降、自治体の情報公開を促進するサービスとして500を超える自治体・団体をサポートしています。

今回提供を開始する本サービスは、“LGWAN 接続端末から会議録検索システムを利用したい”といったお客様のご要望にお応えし、LGWAN からインターネット上の会議録検索システムを安全に直接利用することができるサービスです。

NTT-AT は、ICT を通して人と議会と環境にやさしいサービスを提供してまいります。

### 1. 提供開始の背景

自治体情報システム強靱性向上モデルに基づく市内ネットワークの3分割（マイナンバー利用事務系・LGWAN 接続系・インターネット接続系の分割）が進む中、お客様から“市内の LGWAN 接続端末から利用できない”、“インターネット接続系端末が少なく順番待ちになって不便になった”などの声をいただいていた。

本サービスにより、既存のご契約にオプションサービスを追加するだけで、LGWAN 接続端末からインターネット上の会議録検索システムを低コストでご利用いただけるようになります。

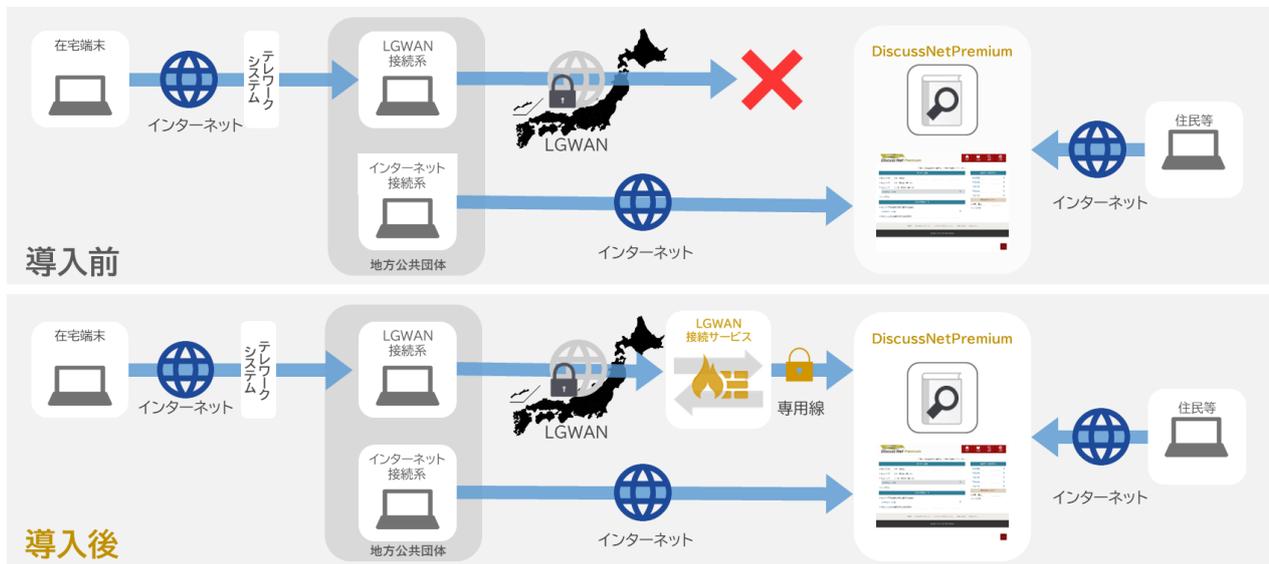


【サービスイメージ】

## 2. サービスの特長

### (1) 接続可能端末の増加・テレワークの促進

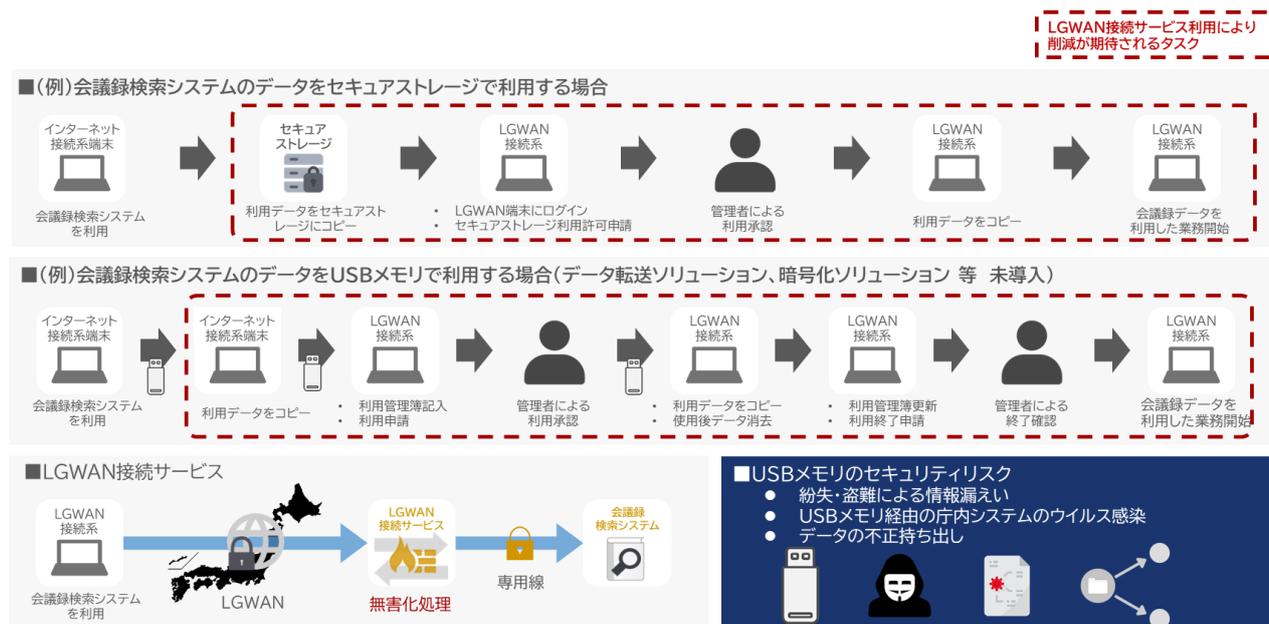
本サービスを導入することにより、LGWAN 接続系から会議録検索システムへ接続が可能となり、接続可能端末が増加します。また、在宅端末からも接続可能（※）となるため、テレワークを促進します。



※ IPA 提供「自治体テレワークシステム for LGWAN」等のご利用を想定

### (2) 業務負荷軽減とセキュリティリスクの軽減

本サービスの利用により、会議録検索システムを利用する業務の負荷が軽減されるとともに、USB メモリを利用しないことによりセキュリティリスクの軽減も期待されます。



### (3) オンプレミス併用に比べ維持管理コストを削減

LGWAN 上で会議録検索システムを利用するため、オンプレミス版の会議録検索システムを併用する事例もあります。本サービスの導入により、オンプレミス版併用に比べ、安価に管理作業なしで会議録検索システムの利用が可能となります。

会議録検索システム(クラウド) + オンプレミス併用		DiscussNetPremium+LGWAN接続サービス
会議録検索システム(クラウド)の利用費用に加え、オンプレミス用サーバー費用が必要。(高価)	<b>費用</b>	DiscussNetPremiumの利用費用に加え、LGWAN接続サービスの契約が必要。(安価)
データ更新は、議会議務局または委託業者が訪問して実施。会議録検索システム(クラウド)の更新も必要。	<b>データ更新</b>	委託業者がDiscussNetPremiumデータ登録。
議会議務局でセキュリティ対策が必要。	<b>セキュリティ</b>	DiscussNetPremiumサービス提供者のNTT-ATで対応。
委託業者が訪問後バージョンアップ作業。(追加費用)	<b>バージョンアップ</b>	常に最新のバージョンで利用可能。
ハード故障は、議会議務局または委託業者で対応。障害発生時のシステム利用不可。	<b>ハード故障対応</b>	DiscussNetPremiumサービス提供者のNTT-ATで対応。標準で冗長化しているため障害発生時もシステム利用が可能。

### 3. 販売について

価格などに関する詳細につきましては、以下の「販売代理店サイト」に記載の販売代理店までご連絡ください。

<https://www.ntt-at.co.jp/product/discuss/resellers.html>

### 4. 今後の展開

新型コロナウイルス感染拡大以降、社会情勢はめまぐるしく変化しています。NTT-ATは、議会向けビジネス拡大を目指すとともに、ICTを活用したサービスの提供により、社会的課題の解決や多様化した人々のニーズに応えていきます。

※ 本文中に記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

#### 本件に関するお問い合わせ先

##### 【商品に関するお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社  
クラウドIoT事業本部  
Discuss担当

<https://www.ntt-at.co.jp/product/discussnetpremium/>

##### 【報道関係のお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社  
ビジネス推進部コーポレート・コミュニケーション部門  
担当：加藤・増田

E-mail: [inquiry@ml.ntt-at.co.jp](mailto:inquiry@ml.ntt-at.co.jp)